

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

ニコニコ箱

【誕生御祝】松原淳一、藤井 裕、野村直之
 【結婚記念日御祝】山本 宝、村井 勝、宮崎為夫、藤井 裕、
 玉木 洋、菅原将高、酒井哲夫、久住竜夫、宇野良二
 【奥様誕生日御祝】横山強志、野村直之、未定宏治
 100%皆出席御祝 / お陰さまで 35 年皆勤。(清水慶造)
 結婚記念日御祝 / 進学で子供たちは、親元を離れていきますが、
 これからも末長くなかよくやっていきましょう。(岩崎 新)
 奥様誕生日御祝 / いつもありがとうございます。(石丸敦士)
 奥様誕生日御祝 / やっと 1 年半がすぎました。今回はがんばり
 ます。(森川圭造)
 本日は卓話、有難うございました。(松田範幸)
 本日は松田支店長の卓話楽しみにしております。(吉岡正巳)
 松田さん卓話ありがとうございます。(渡邊義信)
 松田会員 卓話ありがとうございました。(宮嶋良夫)
 松田さん、卓話ありがとうございました。勉強になりました。
 (水田 基)
 北陸電力 松田支店長の卓話が楽しみです。(野村直之)
 北陸電力、株価の上昇を期待して。(竹中章浩)
 松田さん卓話ありがとうございます。(竹内由男)
 松田さん卓話ありがとうございました。山本さん、写真ありが
 とうございました。(嶋田泰嗣)
 松田支店長の卓話楽しみにしています。山本宝先生 先日の写
 真有難うございます。(井尾聖治郎)
 安定した良質な電力の継続を是非お願いします。(今村善孝)
 アメリカへ交換修学した三女の万実枝(まみえ)が結納を交わし
 8 月に東京の青年と結婚することになりました。残るは四女
 のみ、あと一息です。(片岡正明)
 ニコニコの委員長と同じテーブルになったので。(加藤一二)
 欠席が続きまして。(高橋 薫)
 各 君

米山奨学特別寄付金

宮崎為夫、細江 究、木村憲一、宇野良二
 松田さん、卓話ありがとうございました。(出雲路康照)
 地区大会 2 日間フルコースでした。(清水慶造)
 各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

素晴らしい地区大会と福井ナイトでした。(片岡正明)
 地区大会御苦労様でした。(北島 恬)
 また財団ミトラランチを企画します。ご協力お願いします。
 (木村憲一)
 地区大会で渡邊副幹事に大変お世話になりました。(竹内由男)
 地区大会での福井ナイトは渡邊次年度幹事にお世話になりまし
 た。(増田善宏)
 地区大会、無事帰って来ました。懇親会へ 18 年振りに出席出来
 て至福の刻を過ごしました。矢張りロータリーは素晴らしいです
 ね。(宮崎茂和)
 各 君

ポリオ「2 億ドルチャレンジ」

清水嗣能
 各 君

寄付金の状況

	4月5日分	累 計
ニコニコ箱	85,000 円	2,286,008 円
米山奨学金	12,000 円	528,000 円
ロータリー財団	12,000 円	542,030 円

ありがとうございました。

ビジター受付

■ 4月13日(金) 福井あじさい (ホテルリバービューアケボノ)	■ 4月20日(金) 三国 (三国観光ホテルフロント)
■ 4月16日(月) 敦賀西 (ニューサンピア敦賀ロビー)	■ 4月27日(金) 三国 (三国観光ホテルフロント)
■ 4月17日(火) 福井フェニックス (ホテルフジタ福井1階) 18:00~18:30	■ 4月27日(金) 福井西 ビジター受付なし
■ 4月18日(水) 丸岡 (JA花咲ふくい 丸岡支店)	■ 4月30日(月) 福井東 ビジター受付なし
■ 4月19日(木) 武生府中 (農協会館1F豊稷殿入口)	■ 4月30日(月) 敦賀西 ビジター受付なし

●()内はビジター受付場所です。

次回の例会

2012年 4月 19日(木)

- 会場:ユアーズホテルフクイ
- 開会点鐘:12時30分
- 栄誉行事 / 会員卓話 (朝倉真博会員)
- 閉会点鐘:13時30分

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央 1 丁目 3 番 1 号 加藤ビル 5 階 TEL : 0776-25-0633 FAX : 0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ 4F TEL : 0776-25-3200
 クラブ会報委員会 委員長:宮嶋良夫 副委員長:坂本篤 委員:奥村隆司・中広久・後藤太郎
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 昭和25年11月1日(1950年) 承認 昭和25年12月4日(承認No.7647) 例会 毎週木曜日12:30~13:30

現在会員数
105名

福井ロータリークラブ会報

R.I. DISTRICT 2650
 ROTARY CLUB of FUKUI
 2011-2012
 WEEKLY BULLETIN

2012年4月12日
 第2084号(2240)

2011-2012 RI テーマ:「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

R.I. 会長
 カルヤン・パネルジー



R.I. 第2650地区ガバナー
 今西 信裕



理事・役員

会長(理事)	北島 恬	副会計	市橋加奈子	(理事)クラブ奉仕担当	加藤 幹夫
副会長(理事)	野村 直之	S.A.A	山本 啓史	(理事)職業奉仕担当	酒井 哲夫
直前会長(理事)	藤井 健夫	副 S.A.A	市橋 信孝	(理事)社会奉仕担当	橋本 泰久
幹事	木村 憲一	副 S.A.A	橋脇 典子	(理事)国際奉仕担当	石橋 正人
副幹事	渡邊 義信	(監事)	吉田 清二	(理事)新世代担当	須賀原和広
会計	大森 正男	(監事)	野尻 章博		

本日の例会

2012年4月12日
 第3035回

花見例会(移動夜間例会)

受付登録:17時30分

例 会:18時00分

花 見 会:18時30分

今後の予定

- 4月19日(木)
 例会 / 会員卓話(朝倉真博会員)
- 4月26日(木)
 理事会 / 例会 /
 会員卓話(荒木敬司会員)
- 5月 3日(木) 休会
- 5月10日(木)
 例会 / 栄誉行事 / 委員会卓話

独楽吟

橘曙寛

変化の激しい、そして苦勞も多い日々ですが、
 生活の中に、生業の中に楽しみを見出していきたいものです。

たのしみは錢なくなりてわびをるに
 人の来りて錢くれし時

たのしみは炭さしすてておきし火の
 紅くなりきて湯の煮る時

たのしみは心をおかぬ友どちと
 笑ひかたりて腹をよるとき

(「独楽吟」から毎号3首掲載します。:「独楽吟」は清水慶造会員筆。)

例会報告

2012年4月5日 第3034回 例会

- 現在会員 105名
 - 出席者 65名
 - 今回例会出席率 63.7%
 - 届出欠席者 40名
 - 無届欠席者 0名
- **メイクアップ** 野村直之(3/24会長エレクト研修セミナー、4/1地区大会)、山内鴻之祐(3/30福井西、4/2福井東)、酒井哲夫(3/30福井西、4/2福井東)、宇野良二(3/30福井西)、清水慶造(3/31指導者研修セミナー、4/1地区大会)、小酒井好信(4/2福井東)、藤井健夫(4/2Eクラブ)、村井勝(4/3福井南)、荒木敬司(4/3福井南)、石橋正人、片岡正明、小森富夫、佐々木知也、清水正一、鍋屋昌明、橋脇典子、平野洋一、藤本潤一、森川圭造、山本一雄、吉岡正巳、渡邊義信、木瀬雅博、清水則明、須賀原和広、竹内由男、増田善宏、宮崎茂和、岩下春幸、北島恬、木村憲一、山本啓史、井尾聖治郎、菅原将高、加藤幹夫、宇野良二、小藤幸男 以上29名(4/1地区大会) 各君

会長挨拶



会長 北島 恬

4月1日に京都国際会館に於きまして開催されました2650地区大会、早朝から丸1日の強行日程の中を多数のご参加をいただきまして大変ご苦労さまでございました。桜にはちょっと早かったようでございますけれども、お天気も良くて総勢2800人の参加と聞いております。地区大会関係者やクラブ会長・幹事さん方は、前日からの参加で、集合写真を

撮られたかと思いますが、入れずに残念でしたけれども、会場にて皆様とお会いをいたしました。超有名料亭での福井ナイトはいかがでございましたでしょうか? 役務上私どもは地区懇談会に行っておりましたけれども、地区内外多数の方々とお会いをいたしまして、旧交を深めてまいりました。さて今月は雑誌月間でございます。本配布の「ロータリーの友」の記事を主とした談義ができればいいなと思っておりますので、クラブ奉仕委員会にて企画していただきたいと思っております。また次回はお花見例会でございます。懇親を深めたいと思っておりますので多数のご参加をお待ちいたしております。

栄誉行事



皆出席祝

清水慶造会員 (35年)



結婚記念祝

村井勝会員・岩崎新会員・佐々木知也会員・酒井哲夫会員・山根幸男会員・藤井裕会員
宇野良二会員・玉木洋会員・三崎明孝会員・久住竜夫会員・山本宝会員・宮崎為夫会員



誕生日祝

山田和徳会員・藤井裕会員・松原淳一会員・野村直之会員・村中洋祐会員



乾杯
加藤初夫パスト会長

「お祝いの方々はおめでとうございました。皆様のご多幸と健康を祈念します。」

第37回

ロータリーの綱領
The Object of Rotary

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
 - 第2. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
 - 第3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
 - 第4. 奉仕の理想で結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。(RI定款第4条)
- ロータリーの綱領中の4項目の解説は、等しく大きな意味を持つこと、また、同時に行動をおこすべきであるということにRI理事会の意見が一致した。

ロータリー
豆知識

幹事報告

- ・今月はロータリーの雑誌月間です。
- ・地区大会には福井ロータリーから会員31名とご家族1名が参加されました。
- ・表彰では新世代育成基金奨励賞に福井ローターアクトクラブが、マルチプルフェローに増田善宏会員を含め4名が、米山功労者には16名が表彰を受けました。
- ・4月12日の例会は夜間花見例会(開花亭)、19日は会員卓話(朝倉真博会員)です。

卓話

プログラム委員会 尾崎隆伸会員



3月11日の東日本大震災から1年経って、全国的にも防災・電力エネルギーに高い関心がありますので松田会員にお話をいただきしたいと思います。

卓話 「知っておきたい電力事情」
松田範幸会員

1. これまでのエネルギー状況

(1) エネルギー政策

50～60年代は「量の充足と安定供給重視」であったが70年代の脱石油、90年代の

CO2排出抑制、00年代の安定供給・効率・環境の同時確保というように「エネルギー安全保障が根幹で近年は環境も重視」されてきたところに大震災が起きました。2010年策定の「エネルギー基本計画」では原子力は供給安定性と経済性に優れた準国産エネルギーとされるなかで自給率：約4割、ゼロエミッション比率：約7割が目標とされていました。これまでバランスをとって発電してきたので原子力が止まってもバックアップして持ちこたえています。今は、原子力発電のウエイトが40%を超えている会社は辛い思いをしているところです(北陸電力の構成比は新エネルギー：1%、水力：25%、原子力：33%で残りの41%が石炭・石油です)。

(2) CO2排出量および原子力発電

原子力はCO2を排出しない電源として、温暖化問題では優れた方法の一つです。世界のCO2排出量は石炭を多く用いる中国とアメリカで4割になります。4月5日現在、原子力発電所は54基中、53基が停止中でのままでは5月5日には全てが停止する見込みです。今夏(平成24年)の各社の電力見通しは平成23年の平年並みの暑さで節電をした想定に比べると平成22年の猛暑を想定した場合には、かなり厳しい見通しとなります(北陸電力の供給予備率はプラスを保ちます)。火力発電所がダウンするとバックアップが大変なので会社では緊張感を持って臨戦態勢を敷いています。なお、東アジアでは中国・インドが原子力発電所を持つ方向に動いています。

(3) 電気料金・発電コスト・発電電力量構成比等

国際比較では日本の電気料金は高い方だといわれています。原料を輸入し船賃もかかる為です。チェルノブイリ以降原発をやめたことからイタリアは高いとか、国策として低料金の韓国など国により特徴があります。お客様1軒あたりの年間事故停電時間は日本は14分(北陸電力は8分)と低くなっています。日本では停電防止の設備投資や火力発電の窒素酸

化物防止にお金をかけています。電気料金だけでなく電力の品質・環境保全のことも頭に入れて下さい。発電コストは火力(石油)と太陽光(住宅)は高い。低い方の火力(石炭とかLNG)はCO2を出す。風力(陸上)・地熱はばらつきがある。原子力はCO2を出さずコストは低い方という位置にあります。発電量の構成はお国柄によって特徴があります。どこかの国の政府が何かぶち上げた時には、背景となる動きがあると考えたらどうかと思います。

2. 再生可能エネルギー

新エネルギーはまだ全体の1%、再生可能エネルギーは9%程度です。再生可能エネルギーは発電が不安定なことから、例えば、蓄電が必要だったり、出力の低いときのためにバックアップ用に同量の電力が必要という出力変動対策という課題があります。北陸電力の例でも、再生可能エネルギーで原子力発電所の発電量を賄うには多大な設備と広大な敷地が必要であります。余剰電力の買取制度にも国民負担という課題があります。再生可能エネルギーはなくてはならないものですが、経済性や環境などの観点から定量的・時間軸を踏まえた冷静な議論が必要です。

3. 発送電分離

「電気料金の低下」「再生可能エネルギーの拡大」につながるという推進派の意見がある一方、「燃料の海外依存は不変」であり細かい発電会社が出来てもコストの上昇要因は存在する。また、「再生可能エネルギーの拡大」は「発送電分離と無関係」という慎重派の意見があります。日本では立地地点に限られること、また、電力の需要変動が急で大きいため、発電と送電部門が一体で需給運用を行なうことが必要と考えられます。更に、事故・災害時に機動的・横断的な対応が出来るということを慎重に評価し、大停電などが発生しないようにすることが必要ではないでしょうか。

<最後に>

エネルギー政策は国民生活および産業の将来像の根幹となる重要な問題なので、結論ありきではなく再生可能エネルギーと国民負担、火力とCO2、原子力の当面の問題をいかにバランスよくそして長期のタイムスケジュールで考えるかということが大切です。電気料金、産業のあり方にも関わります。今日の話の頭の片隅において、これから新聞などで出てくる記事をお読みいただければと思います。



第2650地区 地区大会 3月31日(土)・4月1日(日)

3月31日(土)

- 13:00～16:00 指導者研修セミナー
- 17:00～20:00 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

4月1日(日)

- 9:00～12:00 会長・幹事・地区委員長会議 / 新会員セミナー / 新世代交流会
- 13:00～16:00 大会本会議